

2019.9.12

週刊文春

介護の手続き

[第九回]

■ 安否確認

も兼ねる自治体「配食」「ごみ収集」

■ 21500円以内「訪問理美容」

在宅ヘルパー

・寝たきりを助ける寝具丸洗いが数百円
・電球取り換え 家具移動はどこに頼む?

18

役立ちサービス

ホームヘルパーが生活援助や身体介助を行う「訪問介護」など、介護保険制度で提供されるサービスは在宅介護の強い味方。

だが、実は介護保険サービス以外にも、在宅介護をより安心かつ充実したものにする仕組みがあるのだ。

介護保険外のサービスは、市区町村が実施する非営利目的のものから、民間企業が提供するものまで幅広い。また利用にあたり、必要介護認定の要件はない。

反面、ケアマネジャーが個々人にメニューを組んでくれるわけではないので、地域でどんなサービスが行

われているのか把握し、窓口にアプローチする必要がある。が、単身で住む高齢者はもちろん、同居世帯にとっても利用価値は高い。

東京都民生児童委員で、介護に詳しいライターの浅井郁子氏が語る。

「同居家族がいる場合、原則として介護保険サービス

の生活援助は利用できませんが、介護保険外サービスなら活用できる。これも大きなメリットです」

一二九頁のリストは、特に有用な十八のサービス

(二つの介護保険サービスを含む)をまとめたもの。多くの地域で行われているものを

ピックアップしたが、具体的にはどの自治体でどのサービスが行っているか

的な実施状況は各自治体の高齢福祉課や社会福祉協議会などに確認してほしい。

生活総合情報サイト「All About」の解説員で、介護アドバイザーの横井孝治氏は、両親の遠距離介護を行っていた際、特に役立つたのが自治体が提供する配食サービスだという。

「管理栄養士が献立を考えたお弁当を、一食五百円前後で、一日二食、三百六十五日届けてくれる。離れて暮らしていると一番不安なのが食事ですが、お正月まで来てくれるのありがたかった」

配食サービスは民間の仕事を行っています。収集職員が玄関先

り、中には糖尿病や腎臓疾患を抱えたり嚥下能力が落ちているなど、利用者の要請に応じたメニューを提供している業者もある。

小山氏は要介護5の祖母を約十年、在宅介護した経験を持つ。その際に重宝したのが寝具の丸洗い・乾燥・消毒サービスだという。

「目黒区(東京都)では要介護度が重い人を対象に、ふとんの乾燥・消毒を無料で行っています。なかなかふとんを干す機会がなく、よく利用させてもらいました」

「歩行が困難で、ごみを集積場まで運ぶのが困難な高齢者は多く、たとえば東京都世田谷区では『高齢者等訪問収集』として行われています。収集職員が玄関先

まで回収に来てくれるサービスですが、受取りの際の回答が安否確認にもなる」

同区では寝具の乾燥・消毒を年六回、水洗い・乾燥・消毒も年一回、無料で利用可能。自治体によっては有料

出しあるが、多くの自治体で実施している。

「高齢者等訪問収集」は、主に高齢者が自宅で生活できなくなってしまったときに、介護保険外サービス

で、寝具や衣服などを定期的に洗濯してもらうサービスだ。高齢者等の場合は、年六回まで無料で利用可能。

